

会 長	宮原秀夫
次 期 会 長	青山友紀
副 会 長	津田俊隆
	伊藤弘昌
	広崎 膨太郎
	吉田 進
総 務 理 事	坂庭好一
	村田正幸
会 計 理 事	高橋達郎
	秋葉重幸
編 集 理 事	山本浩治
	田中良明
企 画 理 事	西原明法
	大村佳久
調 査 理 事	花澤 隆
	山田 敬嗣
編 集 長	酒井善則
企 画 室 長	持田侑宏
規格調査会委員長	羽鳥光俊
監 事	平田康夫
	正村達郎
基 礎 ・ 境 界	
ソサイエティ会長	小林欣吾
次期ソサイエティ会長	香田 徹

通 信	
ソサイエティ会長	間瀬 憲一
次期ソサイエティ会長	澤谷 邦男

エレクトロニクス	
ソサイエティ会長	河内正夫
次期ソサイエティ会長	益 一 哉

情報・システム	
ソサイエティ会長	畑岡 信夫
次期ソサイエティ会長	大田 友一

北海道支部長	小柴正則
東北支部長	白鳥則郎
東京支部長	荒木純道
信越支部長	宮澤正幸
東海支部長	中川 聖一
北陸支部長	福田 一郎
関西支部長	加藤雅敏
中国支部長	森川良孝
四国支部長	木内陽介
九州支部長	山下雅史

巻頭言

目次前

外向けの活動を——夢のある未来社会実現に向けて——

監事 平田康夫

追悼抄

409

山口開生さんを偲んで

宮津純一郎

特集 私の国際交流の経験

317

特集編集にあたって

編集チームリーダー 塩本公平

1. 海外大学での教授職

318

1-1 米国の企業及び大学での研究マネジメント 小林久志 聞き手：塩本公平
世界各地のトップが結集する米国一流大学・企業の研究環境

327

1-2 米国 MIT の独創・協創・競創の風土 石井 裕
独自の視点からだれも問うことがなかった本質的な課題を発見する

332

1-3 文化、経済、社会の中での教育と研究 須田達也
日本独自の教育システムの構築に向けて

336

1-4 日本の産業界からアジアの大学の教授職への転進を
目指す人に向けて 高橋謙三
アジア地域における高度人材育成に向けた国際交流経験の紹介

343

1-5 台湾の大学教授への転身 多賀秀徳
企業人からの転身、台湾での教育研究職の経験を語る

2. 国際標準化

347

2-1 国際標準化と私——JPEG/MPEG の国際標準化—— 安田 浩
国際標準化の成功の秘けつとは何だろうか

351

2-2 ITU-T での国際標準化活動を目指す人に向けて 内藤悠史
チャンス大切に！ 継続は力なり！ 心を開き、いざ国際舞台へ！

355

2-3 業界標準化団体 OSGi Alliance の運営から 川村龍太郎
業界標準化団体で活動されている技術者からの経験談

3. 大学の国際化

360

3-1 会津大学における国際的な大学を目指した取組みについて 角山茂章
「頭脳循環」時代に対応できる人材教育

その他

平成 21 年 6 月号小特集予定目次 394 本会だより 410 編集室 414
複写される方へ 会告参照 IEICE Global Plaza 会告前 会告 後付
論文誌目次 会告後 広告目次 巻頭言前

4. 学術ネットワークの国際連携

366

4-1 学術ネットワークの国際化

国際社会における日本のインターネットの発展経緯

小西和憲 後藤滋樹

5. 学会における国際交流活動

373

5-1 電子情報通信学会の国際化と IEEE との協業の経験

人のきずなくして国際交流は進まず

山中直明

6. 海外企業での研究開発のマネジメントと実務

377

6-1 米国での研究開発マネジメント ——日本の考え方と米国流のはざままで——

日本と米国の企業風土に挟まれて

今井和雄

381

6-2 海外ビジネスについて——研究開発の実務——

共同プロジェクト、標準化等の実務より業務遂行のポイントを示す

大場義洋

7. 海外大学での Ph.D. 取得, MBA 取得

386

7-1 米国での Ph.D. 学位取得を通して学んだ国際コミュニケーション

Ph.D. 学位取得経験と海外交流の勧め

白井 宏

390

7-2 ミシガン大学ビジネススクール留学記

光デバイス開発者の MBA 取得, その留学経験を語る

国松大介

8. 企業からの客員研究員の海外派遣

395

8-1 UCLA での客員研究員経験と研究者の国際化の勧め

競争環境下でますます重要となる, 多国籍企業運営に向けた,
グローバルに通用する人材の確保

岩田 淳

400

8-2 日本企業から米国・欧州大学への派遣体験 ——米国マサチューセッツ工科大学編/スイス連邦チューリッヒ工科大学編——

企業から米国・欧州大学へ派遣されるって, どんな暮らしが待ってるの?

堀 貴明 村松 純

ニュース解説

405

セキュリティプロトコルの動的な変更技術を開発
——利用環境や危たい化状況に応じてスムーズに対応可能——

407

極薄シリコン共鳴共振器形発光ダイオードの光増幅現象を観察

国際会議

359

The 15th International Display Workshops

中西洋一郎

372

第 14 回アジア南太平洋設計自動化会議

松本剛史

会誌編集委員会

編集長 酒井善則
編集理事 山本浩治・田中良明
編集特別幹事 趙 晋輝・塩本公平
安藤 淳・荒川賢一

WG・A

主 査 趙 晋輝
副 主 査 藤芳明生・鎌部 浩
委 員 石井孝明・加藤浩介
小西啓治・小松 聡
小峯一晃・周 暁
高橋康博・中里純二
中村一彦・堀 玄
松尾直司・松崎周一
村松正吾・目黒光彦

WG・B

主 査 塩本公平
副 主 査 山本全昭・中村 元
委 員 青木信久・居相直彦
岡田康義・亀田洋志
新藤浩之・杉山一雄
田上敦士・野中尚道
藤野義之・松村宏一
道方孝志・村井 仁

WG・C

主 査 安藤 淳
副 主 査 石黒仁揮・板谷太郎
委 員 猪川 洋・植之原裕行
坂部 至・佐藤里江子
鈴木康之・多田哲生
種村拓夫・中野大樹
檜枝謙重・平山浩一
藤田輝雄・舟橋政樹
前田博己・山口雅史
山田隆宏

WG・D

主 査 荒川賢一
副 主 査 苗村昌秀・大西正輝
委 員 麻生英樹・生駒洋子
井上 晃・内田誠一
櫻井茂明・高野光司
豊泉 洋・内藤正樹
福田和真・古家賢一
堀田悦伸・湯川高志
横井謙太郎・芳澤伸一
吉田昌司

ニュース委員会

委 員 長 酒井善則
幹 事 塩本公平・安藤 淳
委 員 荒井正人・五十嵐 讓
井手 聡・上野喬大
尾上裕子・大久保洋幸
川村卓也・河島 整
喜瀬智文・北山賢一
笹田武志・鹿田 實
高木幸一・西海聡子
藤井哲也・藤田 卓
山田辰美・山中秀昭

会誌に対する御意見をお寄せ下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/books/kaishiiken.html>